

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">社会福祉援助技術演習 I</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部教福 2 回生 教育教福 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">畠中 義久</p>
<p>授業テーマ</p> <p>福祉の担い手として、実践に役立つ専門援助技術を学ぶ。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の専門援助技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させ、個別指導・集団指導を通して習得する。 2. 学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を身につける。 3. 演習の中で、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。 4. 在宅での生活支援も視野に入れて理解する。 		
<p>評価方法</p> <p>学年末に試験を実施する。また随時レポートを課し、授業態度を含めて総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>ワークブック社会福祉援助技術演習 1 対人援助の基礎 ワークブック社会福祉援助技術演習 2 個人とのソーシャルワーク</p>	<p>著者</p> <p>山田 容 山辺 朗子</p>	<p>出版社</p> <p>ミネルヴァ書房</p>
<p>参考書</p> <p>適宜紹介する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己覚知（1） 2. 自己覚知（2） 3. 価値観と他者への理解（1） 4. 価値観と他者への理解（2） 5. 援助的コミュニケーション（1） 6. 援助的コミュニケーション（2） 7. 面接の技法 8. 観察と記録（1） 9. 観察と記録（2） 10. ケースカンファレンスの方法（1） 11. ケースカンファレンスの方法（2） 12. グループワークの実際（1） 13. グループワークの実際（2） 14. 補足とまとめ（現場実習を踏まえて） 15. 補足とまとめ（現場実習を踏まえて） 		